

## 議会評価意見書 14

事業名	5-4-6 ごみ収集・焼却等事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p><b>【評価説明】</b></p> <p>収集業務における退職者不補充、さらには民間委託へと事業実施が当初計画より大幅に遅れていることを是正し、取り組むべきである。</p> <p>ごみの減量化・再資源化については、新たな独自施策を立てる中、市民への意識改革に取り組まなければならない。例えば、HDMシステム（微生物を利用した生ごみ減量化処理）や食物性廃油のバイオ燃料化など一部導入することによって、ごみに対する意識付けが変わってくるという効果も見込まれるものになる。</p> <p>焼却施設の老朽化に伴い、管理維持コストの増大は避けられないが、より民間事業者活用など創意工夫したコスト削減が望まれる。</p> <p>また、今回広域化を目指した近隣自治体との検討会を立ち上げ協議していくことは重要ではあるが、一方で、現事業の検証も忘れてはならない。そうした中で、維持管理等、中長期的な計画のもと事業実施していかなければならない。</p>		